

連絡先：海上保安庁総務部
国際・危機管理官付海上保安渉外官
惣田 泰氏
電話：3591-9802（直通）
3591-6361 内線3302

平成19年9月7日
海上保安庁

北太平洋の海上治安確保のための6カ国長官級会議 （「第8回北太平洋海上保安サミット」の結果概要）

岩崎貞二海上保安庁長官は、9月4日（火）から6日（木）まで、北太平洋地域6カ国の海上保安機関の長官級による「第8回北太平洋海上保安サミット」に出席しました。

本サミットは、北太平洋の海上の安全・秩序の維持を目的として、日本、米国、ロシア、中国、韓国及びカナダの6カ国の海上保安機関のトップが一堂に会し、法執行機関としての具体的な連携・協力の方策について話し合いを行うものです。

2000年12月に当庁の呼びかけで開催されて以来、毎年一回実施され、本年はロシアが二回目のホスト国を務めました。結果概要は以下のとおりです。

1 日時・場所

平成19年9月4日～6日

於：ロシア・サンクトペテルブルグ市

2 各国代表

日本	海上保安庁（岩崎貞二 長官）
ロシア	ロシア連邦保安庁国境警備局（ウラジーミル・プロニ チェフ 長官） <議長>
米国	米国沿岸警備隊（サッド・アレン 長官）
韓国	韓国海洋警察庁（コン・ドンオク 庁長）
カナダ	カナダ沿岸警備隊（ジョージ・ダ・ポント 長官）
中国	中国公安部边防管理局（陳偉明 边防管理局長）

※ 各国代表団の参加者合計120名強

3 会合の成果

別紙のとおり

今回の会合の成果（結果概要）

テロ・海上犯罪対策など各分野における連携強化

- ① わが国のリードにより、海上テロの発生の際に各国がとり得る対応に係るガイドラインが取りまとめられた。また、密輸・密航などの海上犯罪に対応した訓練の実施や、共同オペレーションに関するガイドラインの策定など、各分野での連携が着実に進展していることが確認された。

実践的な連携・協力の促進

- ② 一昨年（2018年）の神戸での会合以降、「机上から海へ」のアピールに沿って実施されている漁業監視共同パトロールや、今年に実施された専門家交流が高く評価された。多国間多目的訓練を、2009年に米国、2010年にロシアが開催することが決定されるなど、実践的な連携・協力関係を強化することで意見が一致した。

情報交換・情報収集

- ③ 6カ国が共有する自動情報交換システムの活用が進み、ロシアが取り組んだシステムの更新が評価されるとともに、関心のある船舶等の情報についての議論が深化するなど、情報交換システムの更なる活用に向けた検討を進展させることとなった。

北太平洋海上保安フォーラムの役割

- ④ 北太平洋海上保安フォーラムが北太平洋地域の海上における治安・秩序の安定に果たしている積極的な役割を評価し、連携協力の促進のために、新たな6カ国の共同宣言である「サンクトペテルブルグ宣言」が採択された。次回の開催国は米国に決定した。